

スズキ、軽商用車 新型「スペース ベース」を発売



スペース ベース XF

スズキ株式会社は、軽商用車 新型「スペース ベース」を8月26日より発売します。

新型「スペース ベース」は、「遊びに仕事に空間自由自在。新しい使い方を実現する軽商用バン」をコンセプトに、商用車の積載性や広い荷室空間、使い勝手のよさと、乗用車のデザインや快適性、運転のしやすさを融合した新型軽商用車です。

パッケージングは、隙間のないフルフラットなフロアと低く抑えた荷室開口地上高による、使いやすく荷物が出し入れしやすい荷室空間と、スペースと同等の乗り降りしやすいシート高や乗り心地のよいフロントシートによる、快適な前席空間を両立しました。また、全車標準装備のマルチボードを使い、車中泊やワーケーションなど、目的に合わせて室内空間を自由にアレンジすることが可能です。

さらに、オーバーヘッドシェルフ^{※1}やリヤクォーターポケット、フロアコンソールトレイなど多彩な収納スペースを設置したほか、ユーティリティーナットやLEDルームランプ^{※2}、運転席&助手席シートヒーター^{※3}、助手席シートバックテーブル、防汚タイプラゲッジフロア、USB電源ソケット[Type-A/Type-C]^{※1}を採用し、利便性の高い室内空間としました。

デザインは、フロントグリルやドアハンドル、ドアミラー、バックドアガーニッシュなどの加飾をブラックで統一することで、重厚感を強調するとともに、リヤクォーターパネルやチェッカープレートモチーフにした専用エンブレムを採用し、お気に入りの道具感を演出しました。また、インパネカラーパネルやリヤクォーターポケットなどのアクセントカラーにグレーイッシュブルーを採用し、力強さを表現しました。

車体色は、新色「モスグレーメタリック」をはじめとする全5色のラインアップとしました。

安全面では、夜間の歩行者も検知するデュアルカメラブレーキサポートなどを搭載するスズキセーフティ サポートを全車に標準装備したほか、XFには全車速追従機能付きのアダプティブクルーズコントロール(ACC)を採用しました。また、すれ違い支援機能を搭載した全方位モニター用カメラをメーカーオプションとして設定^{※4}しました。さらに、LEDヘッドランプ、LEDフォグランプを全車に標準装備し、安全機能を充実させました。

新型「スペース ベース」は、経済産業省や国土交通省などが普及を推進する「サポカーS ワイド」^{※5}、国土交通省による「衝突被害軽減ブレーキ(AEBS2)認定車」^{※6}、「ペダル踏み間違い急発進抑制装置(PMPD)認定車」^{※6}に該当します。

※1 XFに採用。

※2 残照式3ポジションLEDルームランプ(フロント、センター)、LEDルームランプ(リヤ)。

※3 GF 2WD車は運転席シートヒーターのみ装備。

※4 XF 全方位モニター用カメラパッケージ装着車として設定。

※5 衝突被害軽減ブレーキなどの先進安全技術をはじめとする一定の運転支援機能を備えた車(安全運転サポート車。略称・サポカー)のうち、ペダル踏み間違い時加速抑制装置などを搭載することで特に高齢運転者に推奨される「サポカーS」の区分のひとつ。「サポカーS ワイド」は、衝突被害軽減ブレーキ(対歩行者)、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載する車。

※6 事故防止対策の一環として、衝突被害軽減ブレーキ、ペダル踏み間違い急発進抑制装置が一定の性能を有していることを国土交通省に認定された車。

* 安全運転を支援する機能の検知性能・制御性能には限界があり、状況によっては正常に作動しない場合があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心掛けてください。

● 目標販売台数(年間) 「スぺーシア ベース」 10,000台

● メーカー希望小売価格(消費税10%込み)

機種名	エンジン	駆動	変速機	燃料消費率 WLTCモード走行 (km/L)	燃料消費率 JC08モード走行 (km/L)	エコカー減税 (重量税) ^{※7}	価格(円)
GF	0.66L DOHC 吸排気VVT	2WD	CVT	21.2	25.8	免税	1,394,800
		4WD		19.9	24.8		1,518,000
XF		2WD		21.2	25.8		1,547,700
		4WD		19.9	24.8		1,667,600

* 2WDは前輪駆動。

* 価格には、リサイクル料金、保険料、税金(除く消費税)、届出等に伴う費用は含まれません。

* WLTC=Worldwide-harmonized Light vehicles Test Cycle 市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。

※7 環境対応車普及促進税制による自動車重量税の減税措置は2023年4月30日新車届出まで。

* メーカーオプション(消費税10%込み)

メーカーオプション名	設定機種	価格(円)
全方位モニター用カメラパッケージ装着車 全方位モニター用カメラ[フロント/サイド(左右)/バックカメラ]、USBソケット、 ステアリングオーディオスイッチ	XF	46,200
【車体色】ピュアホワイトパール塗装車	全車	22,000

● 新型「スぺーシア ベース」の主な特長

1. 商用車と乗用車の強みを活かしたパッケージング

- ・ 隙間のないフルフラットなフロアと低く抑えた荷室開口地上高により、使いやすく荷物が出し入れしやすい荷室空間を実現しました。
- ・ スぺーシアと同等の乗り降りしやすいシート高や広々とした足元の空間、厚みのある乗り心地のよいフロントシートにより、快適な前席空間を実現しました。
- ・ 車中泊やワーケーションなど、目的に合わせて室内空間を自由にアレンジできるマルチボードを全車に標準装備しました。

2. 使い方の幅が広がるアイデアをプラスしたユーティリティ

- ・ オーバーヘッドシェルフ^{※1} やリヤクォーターポケット、フロアコンソールトレイなど多彩な収納スペースを設置しました。
- ・ ユーティリティナットを荷室の左右側面に計10ヶ所配置し、様々なカスタマイズに対応します。
- ・ 車内での作業時に嬉しいLEDルームランプ^{※2}を全車に標準装備しました。
- ・ 運転席&助手席シートヒーターを装備^{※3}し、冬場でも快適にドライブが楽しめます。
- ・ 軽作業に便利な助手席シートバックテーブルを採用しました。
- ・ アウトドアシーンで役立つ防汚タイプラゲッジフロアやファブリックシート表皮[撥水加工](前席)を採用しました。
- ・ スマートフォンなどの充電に便利なUSB電源ソケット[Type-A/Type-C]^{※1}を採用しました。
- ・ 最適なドライビングポジションに調整可能な運転席シートリフター^{※1}とチルトステアリング^{※1}を採用しました。
- ・ 運転席からのアクセスがしやすい後席右側ワンアクションパワースライドドア^{※1}を採用しました。配送時に便利な予約ロック機能も搭載しています。
- ・ 強い日差しからお肌を守るプレミアムUV&IRカットガラス(フロントドア)^{※1}を採用しました。
- ・ 荷室の利用時などにリヤクォーターポケットに収納できる脱着式後席シートベルトを採用しました。
- ・ ロールサンシェードやキーレスプッシュスタートシステム、フルオートエアコンなどを全車に標準装備しました。

3. 個性を際立たせたデザイン

エクステリア

- ・フロントグリルやドアハンドル、ドアミラー、バックドアガーニッシュ、リヤコンビランプ内リムにブラック塗装を施し重厚感を強調しました。
- ・ブラックで統一した 14 インチアルミホイール(ハーフホイールキャップ付) (XF)と 14 インチスチールホイール(GF)を採用しました。
- ・リヤクォーターパネルやチェッカープレートをモチーフにした専用エンブレムを採用し、お気に入りの道具感を演出しています。
- ・アクティブな雰囲気を出すブラックのルーフレールをXFに採用しました。

インテリア

- ・インパネカラーパネル、フロアコンソールトレイ、フロントドアミドルポケット、リヤクォーターポケットのアクセントカラーにグレーイッシュブルーを採用し、力強さを表現しています。

車体色

- ・新色のモスグレーメタリックをはじめ、デニムブルーメタリックやピュアホワイトパールなど、使い方やスタイルに合わせて選べる全 5 色のラインアップとしました。

4. 充実の安全装備

- ・夜間の歩行者も検知するデュアルカメラブレーキサポートなどを搭載するスズキ セーフティ サポートを全車に標準装備しました。
- ・長距離移動時などに運転操作の負担を軽減するアダプティブクルーズコントロール(ACC)[全車速追従機能付]をXFに採用しました。
- ・狭路でのすれ違い時の接触防止をサポートするすれ違い支援機能を搭載した全方位モニター用カメラをメーカーオプションとして設定^{※4}しました。
- ・LEDヘッドランプ、LEDフォグランプを全車に標準装備しました。
- ・4 エアバッグ(運転席・助手席SRSエアバッグ、フロントシートSRSサイドエアバッグ)を全車に標準装備しました。

5. 優れた経済性と走行性能

- ・全車CVTとアイドリングストップの搭載により、軽商用車トップの 21.2km/Lの低燃費^{※8}を実現しました。
- ・全車エコカー減税(重量税)が免税^{※7}となります。
- ・スぺーシアと同等の快適な乗り心地と、街乗りでも高速でも静粛性の高い室内空間を実現しました。

※8 WLTC モード走行燃費(国土交通省審査値)に基づく。GF 2WD車、XF 2WD車。2022年8月現在、スズキ調べ。